

■査読付き論文 (2022年度1本,2019年度1本,2017年度2本,2014年度1本,2013年度2本,2010年度2本,2008年度2本,2007年度2本,2006年度2本 小計15本)

- ・エンジニアリングのための創造活動,日本創造学会論文誌, Vol. 25, pp. 1-47 (2022年) J-Stage (招待論文)
- ・共著 製品価値についての実証データに基づく新価値分析, 日本創造学会論文誌, Vol. 23, pp. 36-60 (2020年) J-Stage
- ・共著 創造性テストの心電計による自律神経計測評価, 日本創造学会, 日本創造学会論文誌, Vol. 20, pp. 142-158 (2017年)
- ・産業連携マネジメントにおけるTLOとベンチャー企業の円滑な関係性の構築,日本マネジメント学会誌 経営教育研究、Vol. 20, No. 1, pp. 41-51 依頼論文(2017年)
- ・ものづくりの本質を見失った日本メーカーの再興の可能性, 経営行動研究学会, 経営行動研究年報, Vol. 23, pp. 26-29 (2014年)
- ・共著 非言語創造性テストの開発と評価, 日本創造学会, 日本創造学会論文誌, Vol. 16, pp. 139-151 (2013年)
- ・共著 中等・高等教育受講学生の創造性評価に関する研究,日本創造学会, 日本創造学会論文誌, Vol. 16, pp. 76-87 (2013年)
- ・日本における革新的な新電子製品を生み出す創造的マネジメントの研究,日本創造学会,日本創造学会論文誌, Vol. 13, pp. 153-172 (2010)
- ・技術革新新製品の企画段階におけるアイデア情報源マネジメント, 経営行動研究学会, 経営行動研究年報, Vol. 19, pp. 58-63, 2010
- ・日本の大企業における独創性を生み出す仕組みに関する実証研究, 日本創造学会論文誌 Vol. 12, pp. 43-59 (2008年)
- ・アイデア発想の情報源が新製品評価に与える影響に関する研究, 日本創造学会論文誌 Vol. 11, pp. 21~45 (2008年)
- ・新製品開発前段階の企画活動のマネジメント技術変遷と効率化要因, 経営行動研究学会経営行動研究年報 Vol. 17, pp. 115-121 (2007年)
- ・技術革新を伴う新製品の開発前段階における創造的マネジメントに関する実証研究, 横浜国立大学 (博士論文) pp. 1-259 (2007年)
- ・有用な特許出願のできる技術者の創造性評価に関する研究, 日本創造学会論文誌 Vol. 10, pp. 135-159 (2006年)
- ・Action patterns taken in developing successfully marketed innovative products – The cases of machinery technology and material technology in Japan– International Journal of Product Development Vol.3, No.2, pp.263-274 (2006)